

2025 年 10 月 28 日

住友理工、おにぎりアクション 2025 を応援 ～従業員の想いを原動力に、世界とつながる食の支援～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、特定非営利活動法人 TABLE FOR TWO International（所在地：東京都港区、代表理事：小暮真久、以下「TFT」）が主催する「おにぎりアクション 2025」をサポートिंगパートナーとして応援しております。



「おにぎりアクション」は、世界の食の格差解消と健康支援に取り組む TFT が、国連が定めた「世界食料デー」（10 月 16 日）を記念して実施する、日本発のソーシャルキャンペーンです。「おにぎり」にまつわる写真を SNS または特設サイトに投稿すると、TFT を通じてアフリカ・アジアの子どもたちに学校給食が届く取り組みで、今年で 11 回目を迎えます。2024 年までの 10 回の開催で、累計約 214 万枚の写真が投稿され、アフリカ・アジアの子どもたちに約 1,163 万食の給食が届けられてきました。

当社グループは、現在 20 ヶ国以上で事業を展開しており、これまでモノづくりを通じて社会の快適さを支えてきました。そのなかで、「食」の社会課題解決にも貢献したいという想いから本アクションに賛同し、昨年に引き続き、サポーターパートナーとして参加を決定しました。今回、より多くの従業員が気軽に参加できるよう、食堂での特別メニューの提供や写真撮影会などの社内イベントを開催しました。当日は、約 170 名の従業員が参加し、「おにぎりで子どもたちの支援につながる活動に参加できて、心もお腹も満たされました」といった声も寄せられました。



おにぎりアクション 2025 社内イベントの様子

当社グループは、創立 100 周年を迎える 2029 年に向けて、「未来を開拓する人・仲間づくり」「柔軟かつ強固な組織づくり」「持続可能な社会に向けた価値づくり」という 3 つの方向性を掲げています。本取り組みは、従業員主体の参加を通じて社内外のつながりを広げ、持続可能な社会への貢献を具体的な行動へと結びつける活動の一つです。今後も、従業員一人ひとりの前向きな行動を原動力として、CSR 活動や SDGs の達成に資する社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

<「おにぎりアクション 2025」概要>

- ・主催：特定非営利活動法人 TABLE FOR TWO International
- ・期間：2025 年 10 月 7 日（火）～11 月 15 日（土）
- ・特設サイト URL

<https://onigiri-action.com/>



以 上

―― 住友理工について ―――

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェア（当社推定）の防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動部品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部／〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>